

「日本遺産」鯖街道の起点に花開いた 「都を支えた交流のまち」小浜市

おばま 松崎晃治
まつざき こうじ



食のまち

「御食国若狭と鯖街道」

旧若狭国（現在の福井県南西地域）の中心にある小浜は、奈良・京都の真北に位置し、日本海に面



「鯖街道」の起点で日本遺産認定を祝う市民

し国家の交易を担う重要な港をもつ交易都市として栄えた。また、若狭は古代から天皇家や朝廷に「食」を供給していた「御食国」としての歴史をもち、以後、「若狭の美物」は絶え間なく政権都市の食文化を支えてきた。江戸時代以降には、大量の鯖が京都へ供給されたことから、いつしか若狭から京都への道は「鯖街道」と称されるようになる。そして、今も京都では葵祭や祇園祭の食として「鯖」は欠かせないものとして文化に根付くとともに、海産物は「若狭もの」として錦市場で珍重されている。このような歴史を誇りに、小浜市は全国で初めて食のまちづくり条例を制定し、食のまちづくりを進めてきた。また、全国にない歴史ストーリーは「海と都をつなぐ若狭

の往来文化遺産群―御食国若狭と鯖街道―として、国の新しい制度である日本遺産の第一号として認定された。わが国の文化を代表する街道として「鯖街道」が認められたのである。

鯖街道がつかないだ 小浜の遺産

鯖街道は鯖だけを運んだのではない。若狭小浜は京都の外港として、海外や日本海諸国の文化を受け入れ京都へ送り、京都からは多様な文化を受け入れてきた。戦国時代には「和泉の堺か若狭の小浜か」と例えられるほどのわが国随一の港町として繁栄した。「食」だけではなく、これらを示すさまざまな遺産が小浜には伝わる。食を生み出す豊かな自然に囲まれ、そ



鯖街道の起点の食文化「浜焼き鯖」

こには海のある奈良と例えられるほどの国宝・重要文化財の社寺群が残り、京都の影響を受けたさまざまな祭礼行事は人々の生活に根付いている。海外との交流による文化財や逸話も数多く伝わる。さらには、廻船業により繁栄した港町や、物流を支えた街道の面影を



港町のたたずまいを見せる「小浜西組」の町並み

とどめる町並みが生活と一体となり守られている。観光地として洗練されてはいないが、生活に密着した素朴な日本の原風景が若狭小浜にはある。そして、鯖のへしこやなれずしなどの伝統食はもとより、京都の台所を支えた食品加工技術は、食のまちづくりを進める中で今も進化し続けている。歴史を誇りに思い、守り伝えるだけでなく、新たな食の歴史を創出する取り組みも欠かさない。素晴らしい歴史風土の中で、新旧のさまざまな食を味わうことができる食のまち。これが日本遺産のまち若狭小浜である。

新街道と旧街道をつなぎ世界へ

昨年7月に中国自動車道と北陸自動車道をつなぐ舞鶴若狭自動車道が全線開通した。また本年7月には京都縦貫道が全線開通し、旧街道を取り巻くような高速環状ネットワークが完成した。鯖街道沿線にある京都・滋賀・若狭が新鯖街道のループにより連携することとなる。新鯖街道を活用し、旧街道の歴史や自然に簡単に触れただけの体制が整った。

日本遺産制度はクールジャパン戦略に基づくインバウンドの獲得が一つの目的となっている。一昨年「和食―日本人の伝統的な食文化―」がユネスコ無形文化遺産となり、和食ブランドは世界を席巻している。京都の食を支え、食材を生む自然、それに感謝する場である社寺や祭礼行事が密集する若狭小浜には「日本食文化の縮図」があると例えられる。本年開催されているミラノ国際博覧会へは、食育先進地の取り組みである「キッズキッチン」および全国の塗箸シェアの80%を誇る「若狭塗箸」がわが国の代表として出展を果たし

た。また、多くの国内外の文化を受け入れてきた小浜湾の自然「蘇洞門」は、アメリカCNNの日本で最も美しい場所31選にも選出された。鯖街道の往来拠点であった国際都市小浜は、日本の原風景の中に和食文化が息づく新たな国際都市・日本遺産都市として歩み始める。



日本海が作り出す景勝地「蘇洞門」

鯖街道 一口メモ

『京は遠ても十八里』 若狭と京を結ぶいくつもの街道

若狭から京都へ至る街道や峠道には本来それぞれ固有の呼び名があるが、近年、運ばれた物資の中で「鯖」が有名になったことから、これらの道を総称して「鯖街道」と呼ぶようになったとされる。

その内、最も利用された道は、小浜から熊川を経由して滋賀県の朽木を通り京都の出町柳に至る「若狭街道」である。他にも多くの道があるが、京都への最短距離をとる峠道として「針畑越え」があり、小浜から熊川を経由し滋賀県の今津に至る「九里平越え」も古来より西近江路につながる重要な道である。

さらに、京都と小浜の間の峠を越えて「鞍馬街道」に至る道や、小浜から名田庄の堀越峠などを越えて京都の高雄につながる「周山街道」なども重要な街道であった。



企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」